



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年7月31日

上場会社名 住友金属工業株式会社

上場取引所 東 大 名 札 福

コード番号 5405

(URL <http://www.sumitomometals.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 友野 宏

問合せ先責任者 役職名 広報グループ長

氏名 松井 俊文

TEL (03) 4416-6115

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成19年4月1日~平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	406,349	8.9	65,836	5.3	75,284	8.8	44,839	7.9
19年3月期第1四半期	373,072	8.3	62,501	4.6	69,222	9.8	41,571	8.2
19年3月期	1,602,720	-	303,774	-	327,676	-	226,725	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	9.70	-
19年3月期第1四半期	8.66	-
19年3月期	47.89	47.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	2,396,021	922,237	36.6	191.10
19年3月期第1四半期	2,073,042	769,432	35.1	151.65
19年3月期	2,301,556	924,798	38.3	189.81

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	32,354	40,450	5,587	11,507
19年3月期第1四半期	-	-	-	-
19年3月期	171,833	108,934	83,456	13,020

(注) 当四半期より四半期連結キャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	830,000	8.0	130,000	3.8	140,000	10.3	85,000	14.8	18.54
通期	1,710,000	6.7	280,000	7.8	300,000	8.4	190,000	16.2	41.45

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

なお、本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる可能性があります。

[定性的情報・財務諸表等]

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)の鉄鋼事業の環境につきましては、当社グループが得意とするエネルギー・自動車分野向け等の高級品需要が引き続き堅調で、その結果、高水準の生産が続きました。この中で、当社グループは、差別化を加速し、『中期経営計画2006～2008』に掲げた、質を重視した成長と、企業価値の持続的な向上を目標とした諸施策を実行しました。

鹿島製鉄所では、5月に第3高炉の拡大改修を終え、上工程から下工程までフル操業ができる800万トン体制を確立しました。また、安定的な収益の確保を狙った新しい電力卸供給(IPP)事業も6月に営業運転を開始しました。

7月にはブラジルでの高級シームレスパイプ製造合弁会社設立の契約をパローレックグループと締結し、鋼管事業の世界戦略と差別化を加速します。

当第1四半期の業績につきましては、モリブデンやマンガンなどの非鉄金属や海上運賃といった原料価格の高騰、新しい税法基準適用による償却負担増加等の損益悪化要因があり、一方で業績堅調な関係会社や鋼材価格の改善等の損益好転要因がありました。その結果、売上高は4,063億円、営業利益が658億円、経常利益が752億円、四半期純利益は448億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は23,960億円と19年3月末対比944億円増加しました。純資産は9,222億円と25億円減少し、自己資本比率は36.6%となりました。連結借入残高については法人税、配当の支払や自己株式の取得、積極的な設備投資等の資金支出により7,981億円と802億円増加しました。

(キャッシュフローの状況)

- ・ 当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が757億円となった一方で、法人税等の支払いが606億円となったことなどから323億円の収入となりました。
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フローは電力卸供給(IPP)用発電設備を主体とする設備投資の支払いなどにより404億円の支出となりました。
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フローは自己株式の取得や配当の支払いによる支出とその支出に対する借入金の増加などにより55億円の収入となりました。

上記の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、19年3月末130億円から115億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、非鉄金属や海上運賃といった原料価格の高騰に伴うコスト増加の損益悪化要因はあるものの、鋼材価格の改善等の損益好転要因があることから、通期の連結売上高(100億円の増収)を除き、平成19年4月27日公表の数値から修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

実地棚卸の省略等、一部簡便な方法を用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当第1四半期より平成19年度法人税法改正に伴い、有形固定資産の減価償却方法を改正後の法人税法に定める方法に変更しております。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期	当第1四半期	増 減	増減率	< 参 考 >
	(18/4~18/6)	(19/4~19/6)			前 期
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売 上 高	373,072	406,349	33,277	8.9	1,602,720
売 上 原 価	275,034	305,659	30,624		1,156,622
売 上 総 利 益	98,037	100,690	2,652	2.7	446,098
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	35,535	34,853	682		142,324
営 業 利 益	62,501	65,836	3,334	5.3	303,774
営 業 外 収 益	13,760	19,029	5,269		63,241
受 取 利 息	466	710	243		1,593
受 取 配 当 金	2,827	2,787	40		6,682
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	7,297	12,010	4,713		41,803
そ の 他 の 収 益	3,169	3,521	352		13,161
営 業 外 費 用	7,039	9,581	2,542		39,339
支 払 利 息	2,665	3,426	761		11,468
そ の 他 の 費 用	4,374	6,154	1,780		27,871
経 常 利 益	69,222	75,284	6,062	8.8	327,676
特 別 利 益	-	6,903	6,903		29,842
特 別 損 失	3,564	6,438	2,873		15,793
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	65,658	75,750	10,091	15.4	341,725
法 人 税 等	23,886	30,026	6,140		112,280
少 数 株 主 損 益	200	884	683		2,719
四 半 期 (当 期) 純 利 益	41,571	44,839	3,267	7.9	226,725

(2) (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	前第1四半期 18年6月末	当第1四半期 19年6月末	増 減	増減率	< 参 考 > 前 期 19年3月末	対前期増減	対前期 増減率
(資産の部)	百万円	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
流動資産	644,689	712,971	68,281	10.6	672,555	40,415	6.0
現金及び預金	29,118	11,571	17,547		13,084	1,513	
受取手形及び売掛金	180,952	204,975	24,022		213,432	8,456	
棚卸資産	369,371	432,813	63,442		385,604	47,208	
その他	65,247	63,611	1,635		60,434	3,177	
固定資産	1,428,308	1,683,050	254,742	17.8	1,629,000	54,049	3.3
有形固定資産	1,012,873	1,065,769	52,895		1,046,278	19,491	
無形固定資産	5,947	4,748	1,198		5,055	307	
投資その他の資産	409,487	612,532	203,045		577,666	34,866	
繰延資産	44	-	44	100.0	-	-	-
資産合計	2,073,042	2,396,021	322,979	15.6	2,301,556	94,465	4.1
(負債の部)							
流動負債	811,434	893,901	82,467	10.2	807,856	86,044	10.7
支払手形及び買掛金	347,607	373,589	25,981		340,457	33,131	
短期借入金	286,191	283,969	2,221		244,913	39,055	
コマースルペーパー	24,000	30,000	6,000		-	30,000	
一年内償還予定社債	25,450	20,000	5,450		15,000	5,000	
その他	128,185	186,342	58,156		207,484	21,142	
固定負債	492,175	579,882	87,707	17.8	568,902	10,980	1.9
社債	91,200	116,160	24,960		121,159	4,999	
長期借入金	297,671	348,059	50,387		336,910	11,148	
その他	103,304	115,663	12,359		110,831	4,831	
負債合計	1,303,609	1,473,784	170,174	13.1	1,376,758	97,025	7.0
(純資産の部)							
株主資本	643,711	729,352	85,641	13.3	743,068	13,715	1.8
資本金	262,072	262,072	-		262,072	-	
資本剰余金	61,897	61,897	0		61,897	-	
利益剰余金	320,348	517,000	196,652		490,523	26,477	
自己株式	606	111,617	111,011		71,424	40,192	
評価・換算差額等	84,535	146,682	62,147	73.5	137,738	8,943	6.5
その他有価証券評価差額金	73,249	132,375	59,125		122,825	9,549	
繰延ヘッジ損益	677	1,165	487		541	623	
土地再評価差額金	16,061	13,873	2,188		16,804	2,930	
為替換算調整勘定	4,098	1,599	5,698		1,349	2,948	
少数株主持分	41,186	46,201	5,015	12.2	43,990	2,211	5.0
純資産合計	769,432	922,237	152,804	19.9	924,798	2,560	0.3
負債及び純資産合計	2,073,042	2,396,021	322,979	15.6	2,301,556	94,465	4.1

(3) (要約) 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第1四半期 (19/4~19/6)	< 参 考 > 前 期 (1 8 年 度)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	75,750	341,725
減価償却費	23,137	73,380
受取利息及び受取配当金	3,497	8,276
支払利息	3,426	11,468
持分法による投資損益	12,010	41,803
売上債権の増減額	11,561	6,348
棚卸資産の増減額	44,532	37,246
仕入債務の増減額	41,505	8,212
その他	2,324	13,759
小計	93,015	310,927
法人税等の支払額	60,661	139,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,354	171,833
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	7,015	16,981
有形無形固定資産の取得による支出	42,280	127,107
その他	5,185	1,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,450	108,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	3,197	11,504
社債及び借入金の増減額	71,409	42,889
配当金の支払額	20,882	38,416
その他	41,741	76,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,587	83,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	676	684
現金及び現金同等物の増減額	1,831	19,872
現金及び現金同等物の期首残高	13,020	32,596
連結範囲変動による現金及び現金同等物の増減	318	297
現金及び現金同等物の期末残高	11,507	13,020

(注) 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	(19年6月末)	(19年3月末)
現金及び預金勘定	11,571 百万円	13,084 百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	63	63
現金及び現金同等物	11,507	13,020

(4)セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第1四半期(18/4~18/6)

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	エレクトロニクス	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高及び営業利益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	346,304	2,042	13,480	11,244	373,072		373,072
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	117			4,333	4,451	(4,451)	
計	346,421	2,042	13,480	15,578	377,523	(4,451)	373,072
営業費用	285,043	2,339	13,168	14,510	315,062	(4,491)	310,570
営業利益	61,377	296	312	1,067	62,460	40	62,501

当第1四半期(19/4~19/6)

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	エレクトロニクス	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高及び営業利益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	380,315	3,162	14,243	8,628	406,349		406,349
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	140			4,194	4,334	(4,334)	
計	380,456	3,162	14,243	12,822	410,684	(4,334)	406,349
営業費用	314,914	3,334	14,418	12,153	344,822	(4,308)	340,513
営業利益	65,541	172	174	668	65,862	26	65,836

<参考>前期(18年度)

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	エレクトロニクス	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高及び営業利益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,488,861	10,784	59,389	43,685	1,602,720		1,602,720
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,347			19,191	20,538	(20,538)	
計	1,490,208	10,784	59,389	62,876	1,623,259	(20,538)	1,602,720
営業費用	1,192,413	12,455	56,922	57,329	1,319,121	(20,175)	1,298,946
営業利益	297,795	1,670	2,466	5,547	304,137	363	303,774

(注)事業区分に属する主要な製品等

事業区分	主要な製品等	
鉄 鋼 事 業	鋼 板	構造用厚鋼板、低温用鋼板、ラインパイプ用鋼板、高張力鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、電磁鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、電気亜鉛めっき鋼板、カラー鋼板、プレコート鋼板、ステンレス精密圧延鋼板、純ニッケル鋼板他
	建 材 製 品	H形鋼、外法一定H形鋼、軽量H形鋼、鋼矢板、鋼管杭他
	鋼 管	継目無鋼管、電気抵抗溶接鋼管、大径アーク溶接鋼管、熱間溶接鋼管、異形鋼管、各種被覆鋼管、ステンレス鋼管他
	条 鋼	機械構造用鋼、冷間鍛造用鋼、ばね鋼、快削鋼、軸受鋼、スチールコード用線材、ステンレス条鋼他
	鉄 道 車 両 用 品	車輪、車軸、台車、駆動装置、連結器他
	鑄 鍛 鋼 品	鍛造クランクシャフト、金型用鋼、アルミホイール、鉄塔用フランジ、溝型車輪、圧延用ロール他
	半 製 品	鋼片、製鋼用銑他
	そ の 他	チタン製品、製鉄技術、電力卸供給、鋼材等の海上・陸上輸送、設備メンテナンス、パイプライン、エネルギープラント他
エンジニアリング事業	橋梁・土木製品、システム建築他	
エレクトロニクス事業	ICパッケージ、電子部品他	
そ の 他 の 事 業	不動産の賃貸・販売、試験・分析事業他	

(参考資料)

平成 19 年 7 月 31 日
住友金属工業株式会社

1. 全国粗鋼生産量

(単位：百万トン)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	2 9	2 8	5 7	2 8	2 8	5 6	1 1 3
18 年度	2 9	2 9	5 8	3 0	3 0	6 0	1 1 8
19 年度見通し	3 0	-	6 0 程度	-	-	5 8 程度	1 1 8 程度

2. 当社粗鋼生産量(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む)

(単位：万トン)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	3 3 1	3 3 9	6 7 0	3 3 0	3 3 1	6 6 1	1 3 3 1
18 年度	3 2 9	3 3 8	6 6 7	3 3 4	3 3 7	6 7 1	1 3 3 8
19 年度見通し	3 2 1	-	6 6 0 程度	-	-	6 8 0 程度	1 3 4 0 程度

3. 輸出比率(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む・・・金額ベース)

(単位：%)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	-	-	4 3	-	-	4 4	4 4
18 年度	4 6	4 6	4 6	4 6	4 7	4 7	4 6
19 年度見通し	4 6	-	4 5 程度	-	-	4 5 程度	4 5 程度

4. 想定為替レート

(単位：円/\$)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	1 0 8	1 1 1	1 0 9	1 1 7	1 1 7	1 1 7	1 1 3
18 年度	1 1 4	1 1 6	1 1 5	1 1 8	1 2 0	1 1 9	1 1 7
19 年度見通し	1 2 1	-	1 1 8 程度	-	-	1 1 5 程度	1 1 6 程度

5. 為替変動による業績影響(連結)

	18 年度	19 年度見通し
\$ 受取超過額	1 7 億 \$ / 年程度	1 7 億 \$ / 年程度

6. 鋼材平均価格(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む)

(単位：千円/トン)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	-	-	8 8 . 5	-	-	9 8 . 9	9 3 . 7
18 年度	9 5 . 5	9 7 . 9	9 6 . 7	1 0 0 . 1	1 0 6 . 2	1 0 3 . 2	1 0 0 . 0
19 年度見通し	1 0 2 . 3	-	1 0 4 程度	-	-	1 0 6 程度	1 0 5 程度

7. 単独決算見通し

(単位：億円)

	19年度上期		19年度 通期見通し	(前回) 19年度 通期見通し
	第1四半期	上期見通し		
売上高	2615	5450程度	11100程度	11100程度
営業利益	494	1000程度	2050程度	2050程度
経常利益	650	1100程度	2100程度	2100程度
当期純利益	413	700程度	1300程度	1300程度

8. セグメント別の売上高及び営業損益見通し(連結)

(単位：億円)

	19上見通し		19年度見通し	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益
鉄鋼	7700程度	1270程度	15850程度	2720程度
エンジニアリング	70程度	0程度	150程度	0程度
ILKテクノ	310程度	5程度	650程度	30程度
その他	220程度	25程度	450程度	50程度

<鉄鋼事業カンパニー別売上>

(単位：億円)

	第1四半期	19上見通し	19年度見通し
鋼板・建材(連結)	1451	3000程度	6100程度
鋼管(連結)	1582	3150程度	6500程度
交産品(連結)	254	500程度	1050程度
住金小倉(連結)	356	750程度	1550程度

9. 借入残高

(単位：億円)

	19/3末	19/6末	19/9末見通し	20/3末見通し
連結	7,179	7,981	7,800程度	8,150程度
単独	6,393	7,102	7,000程度	7,400程度

10. 損益変動要因分析(連結)

19年度第1四半期 18年度第1四半期

(為替レート TTM 19年度第1四半期：121円/ドル 18年度第1四半期：114円/ドル)

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
(コスト改善)	30	(原料・資材)	290
(評価損益)	140	(償却<税制改正>)	45
(持分法損益)	50	(固定費増)	30
(為替差)	15	(高炉切替影響)	50
(販売価格・構成他)	240		
合計	475	合計	415
差引経常利益 60億円好転 19/1Q：752億円 18/1Q：692億円			

以上